

—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

レバノン・イスラエル：境界地域での発砲事件

12月15日午後8時半頃、イスラエル北部のレバノンとの境界沿いをパトロールしていたイスラエル軍車両が、レバノン側から銃撃を受けた。同銃撃で、イスラエル軍兵士1人が死亡した。イスラエル側は、レバノン側に不審な動きがあり、応戦したと報道されている。発砲があったのはレバノン軍がいた場所とされた。同軍は、事件後、兵士1人が行方不明になったと発表した。イスラエル・レバノン境界付近でイスラエル軍兵士が死亡する事件が起きたのは2010年の8月以来であるが、イスラエル軍の反応は冷静である。レバノン軍側も、南レバノンに展開する国連軍 UNIFIL の調査に前向きに協力していると報道されている。UNIFIL は、15日夜、事態の緊迫化を避けるためにイスラエル軍とレバノン軍との3者協議を開催した。16日、イスラエルのヤアロン国防相は、レバノン側に事件の説明を要求した。イスラエル側のメディアは、イスラエルはレバノンとの境界地域で緊張が高まることを望んでいないと報道している。

レバノン・イスラエル境界地域では、2006年の「レバノン戦争」停戦後、大きな衝突はない。2011年に入り、シリア国内での戦闘が激化したが、同地域は、2011年以前より平穏になっている。2011年以降、イスラエルが確認したレバノン側からのロケット弾発射は、2011年11月末に1回あっただけである。ただヒズブッラーとイスラエル軍の間での小さな小競り合いは継続されている。2013年4月25日、レバノン領空から無人機がイスラエル領空を侵犯し、イスラエル空軍が撃墜した。同事件について、ヒズブッラーは関与を否定している。2013年8月7日には、レバノンとの境界でイスラエル軍パトロールを狙った爆発があり、イスラエル軍兵士4人が負傷した。ヒズブッラーのナスラッラー書記長は、8月14日の演説の中で、同爆発はヒズブッラーの作戦だったとしている。12月12日には、レバノン側からイスラエル側に銃撃があったが、イスラエル軍は地元のハンターが誤って撃ったとしていた。

(中島主席研究員)